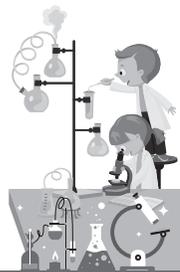


自動車のものづくり体験

— ボルト締めと塗装 —



 団体出席

一般社団法人日本自動車工業会（東京都）

●どんな体験なの？

自動車は、大きな工場でたくさんのロボットや人が集まり、ベルトコンベヤーで流れてくる自動車の骨格に次々と部品を取り付けることで完成します。自動車の骨格に部品を取り付けるボルト締めや塗装の修理をとおして自動車のものづくり体験をしてみましょう。

●体験のしかたとコツ

【用意するもの】

ボルト、インパクトドライバー、台座、コンパウンド（クリーム）、プラスチック板（塗装加工済）、ウエス

【体験のしかた】

I. ボルト締めの体験（図1）

- (1)インパクトドライバーの電源を入れます。
- (2)ボルトを手に取りインパクトドライバーに取り付けます。
- (3)インパクトドライバーのスイッチを押し、台座に付いている穴に向けてボルトを取り付けます。
- (4)繰り返しボルトを取り付けし、早く、正確に取り付けができるように練習してみましょう。



図1

II. 塗装の体験（図2）

- (1)プラスチック板の傷がついたところにコンパウンドを少量つけます。
- (2)ウエスを使って、プラスチック板につけたコンパウンドをふき取ります。
- (3)きれいにふき取ったあとに傷が消えているか見てみましょう。



図2

●気をつけよう

- ・インパクトドライバーはスイッチの押す力の強弱によって速く回転したり、遅く回転したりします。慣れないうちは遅い回転から始めてみましょう。
- ・ボルトは取り付ける位置に対し垂直になるようにしないとうまく取り付けできません。垂直を意識してボルトを付けてみてください。
- ・コンパウンドには細かい粒が入っているので、終わったら手を洗いましょう。
- ・コンパウンドを強くふき取ると、細かい粒が塗装を削り余計に傷をつけてしまいます。そっといいねいにふき取るようにしましょう。

●もっとくわしく知るために

- ・自動車に取り付ける部品は約3万点あり、大きな部品は主にボルトを使って取り付けられています。
- ・自動車の塗装は地層のように何回も塗料を塗り重ねられ、一番上の層には「クリヤ」という塗装をしています。そのため、錆びずにきれいな色を保ち、少しの傷であれば元通りに治すことができます。
- ・スズキホームページ「工場案内」

URL : <https://www.suzuki.co.jp/corporate/producingbase/pdf/factory.pdf>